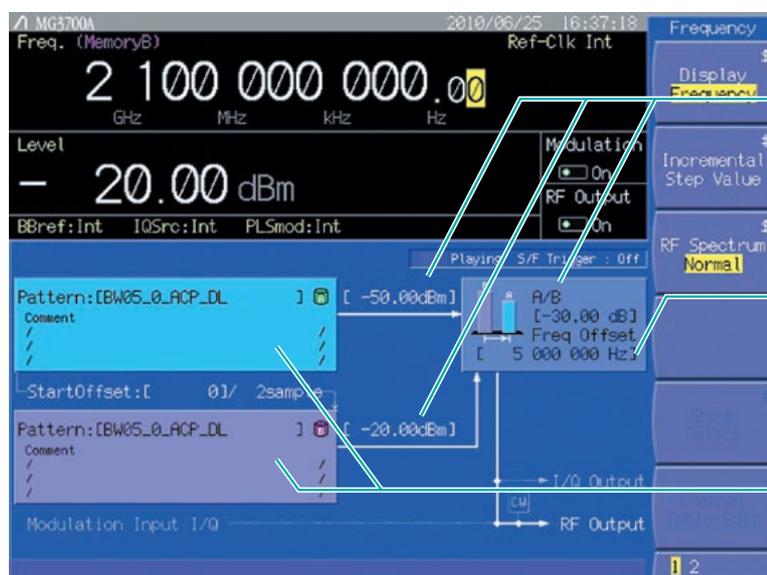


2信号加算機能で 「希望波」「妨害波」を1台で出力

MG3700A
ベクトル信号発生器



2信号加算機能
MG3700Aは、2つのARBメモリに異なる波形パターンを設定し、1台で出力できます。それぞれのレベル比や周波数オフセットを自由に設定できます。



レベル比を簡単に設定可能

- ・レベル設定 (メモリ A/B)
- ・C/N設定

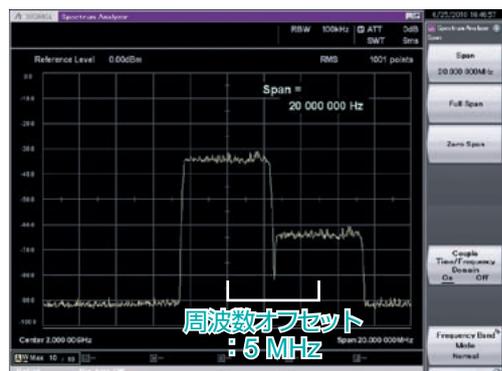
周波数オフセット設定

メモリ A用とメモリ B用の信号に周波数オフセットを設定可能

2つの波形パターン

- ・メモリ Aに保存された希望波
- ・メモリ Bに保存された妨害波

希望波と妨害波を1台から出力可能



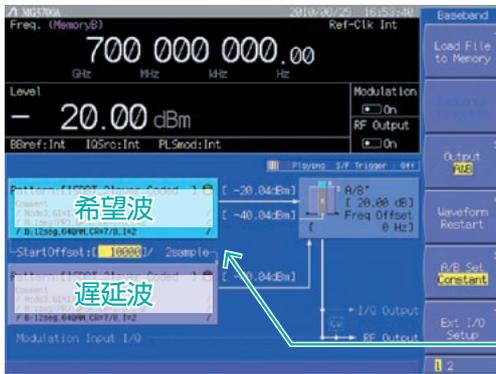
周波数オフセットの設定範囲は、使用する波形パターンのサンプリングレート*により異なります。

* : サンプリングレート16.254MHzの一例
周波数オフセット設定範囲: -47.94 MHz~+47.94 MHz

“2信号加算機能”の使用例

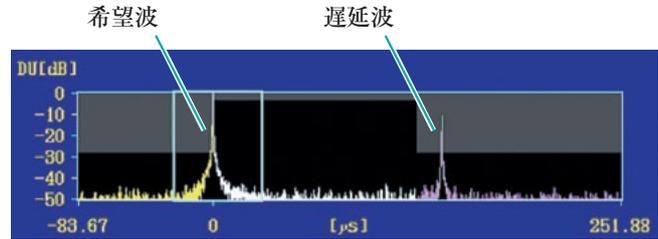
■ 希望波と遅延波 (マルチパス試験)

MG3700 Aの2波加算機能を使用し、メモリA、Bの波形パターンを合成して出力する際に、各波形パターンの再生開始タイミングをずらすことができ、擬似的な遅延波(1波)の検証をおこなえます。タイミングをずらす際には、下図の“Start Offset”を設定します。



MG3700A

タイミングオフセットを設定



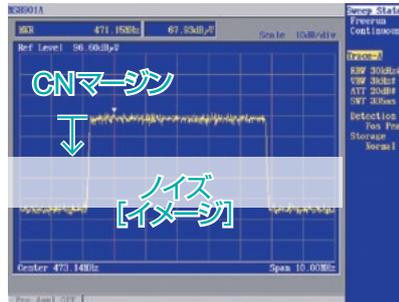
(例)マルチパス

■ 希望波とAWGN信号 (CN試験)

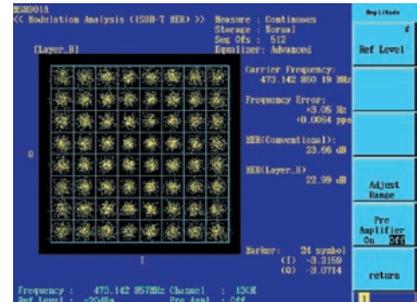
MG3700 Aの2波加算機能を使用し、メモリAに希望波、メモリBにAWGNを設定して波形パターンを合成することにより、CNマーzin試験ができます。AWGN波形パターンは、IQproducerの標準機能の一つで自由に生成できます。



MG3700A



(例)スペクトラム



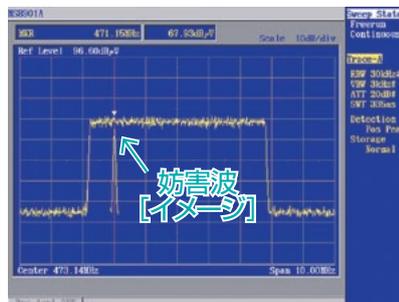
(例)コンスタレーション

■ 希望波とCW信号 (妨害波試験)

MG3700 Aの2波加算機能を使用し、メモリAに希望波、メモリBに混信波 (CW) を設定して波形パターンを合成することにより、擬似的に帯域内の混信波の干渉試験ができます。



MG3700A



(例)スペクトラム